

富良野新庁舎建設検討委員会部会 市民 WS における意見一覧

◇日時：平成 30 年 10 月 11 日（木）18：00～20：00

◇場所：市役所 第 3 会議室

◇参加者：市民 5 名 職員ワーキンググループ 5 名 事務局 6 名

メインテーマ 「 どんな庁舎になってほしいか 」

テーマ① 防犯・セキュリティ

「大規模災害時の“要”として庁舎にはどんな機能が必要でしょうか」

- ・北海道胆振東部地震では市のサーバーがダウンしており震災の情報がなかなか把握できなかった
- ・スマートフォンやネットで情報収集ができない高齢者向けにアナログな情報提供も必要では
- ・市職員は災害対応時に動いてもらう必要があるので職員の安全を確保できる施設であるべき
- ・市内だけでなく周辺地域への支援をできるような視点も必要
- ・停電時に市民に電気を提供できる設備が必要では
- ・災害時に通信機能を確保できる状況も必要では
- ・停電時に備えて自家発電の持続時間も検討するべき
- ・行政の中心として十分に機能をはたせるだけの電源確保が必要
- ・新庁舎の立地を考えると、地震だけではなく水害への対応も必要では
- ・新庁舎では予備電源設備を水没しないようにするべき
- ・一方で、金山ダム建設以降では空知川の氾濫による大きな水害はない

テーマ② 窓口・行政事務

「どんな行政窓口だと使いやすいでしょうか」

- ・現庁舎では、目的の窓口がどこにあるのか分かりにくい
- ・手続きができるだけワンストップで出来る動線が良い
- ・案内の位置・見やすさ、施設全体の見通し、総合窓口のような機能を分かりやすい位置に
- ・見通しのよさが必要な一方で、利用者のプライバシーの確保も必要では
- ・プライバシーを考えると、窓口には個室・パーティションのブースも必要かもしれない
- ・現庁舎では、駐車場から窓口までのアクセスは良くて便利
- ・高齢者・障がい者の人にも使いやすいよう手摺やエレベーターなどバリアフリー対応は欠かせない
- ・議場の傍聴席が議員から遠くて状況がわからないため、できるだけ近くしてほしい

テーマ③ 市民活動支援「新しい文化会館にどんなことを期待しますか」 「市民が自由に使える場所があったらどう使いたいですか」

- ・人口減少する中では大きな専用ホールでなく、平土間型の多様な目的で使えるホールがいいのでは
- ・歩く音や揺れの対策ができるなら平土間型の可動式座席とすることもない話ではない
- ・ホールの600席は可動式にするなど、実際に使われるのかを考慮してほしい
- ・全道大会など一定規模以上の催しの開催を想定すると文化会館程度の専用ホールは必要では
- ・富良野市だけでなく、富良野全体の広域活動を支える施設として今と同等の機能が必要では
- ・大きな催しはホテル需要にもつながり、経済的な波及効果も大きい
- ・演劇・演奏の際には専用ホールとして、今の文化会館レベル程度の音響は欲しい
- ・造ることと合わせてしっかりと使ってもらえるような活動・戦略も必要
- ・有名アーティスト等が講演できる専用ホール or 市民活動を支えるホールの見定めが必要
- ・子どもを連れて来て、人々と交流ができる場所が欲しい
- ・防音機能を持つ研修室が必要（現状、カラオケ・サークル活動等が盛んである）

テーマ④ 建物構造 「現在の庁舎は高齢者や障がいのある方にとって使いやすい庁舎ですか」

- ・効率性と経済性、両方の視点で検討してほしい（100年、長い目で見て必要なもの）
- ・建設費だけに目が行きがちであるが、ランニングコストの視点も大切だと思う
- ・施設集約による経済的効果もしっかりと考えてほしい
- ・現状施設は真夏や冬では劣悪な環境になるので、空調設備は整えた方がよい
- ・新築になるのだから、バリアフリー（EV、手摺、トイレ等）は当然対応してほしい
- ・高齢者も使いやすいトイレが必要
- ・視覚障害者用の点字が高齢者にとって不自由な場合もある
- ・子供連れの人用に授乳室が必要では

その他

- ・ぜひ、移住者支援の行政窓口を作ってほしい（住む・働く…など）
- ・全国的に知られている「富良野」を内外に発信できるようにしてほしい
- ・庁舎に用がない人も利用できる施設があってもいいのでは
- ・木材を使った温かみのある庁舎にしてほしい
- ・現状舞台袖が無く使いづらい、使い手を考えた環境・機能・空間・設備を検討してほしい
- ・作るのであればしっかりと市民が使える施設にしてほしい
- ・市内全体の公共施設の機能・配置も今後検討する必要があるのでは
- ・文化会館には小さな子供連れの人が見ることのできる親子室は欲しい